

What's Cool

今泉 洋の



What's Cool



ウェブの機能をフルに活かしたAT&Tの情報サービス
AT&T Business Network Home Page

URL <http://www.leadstory.com/>

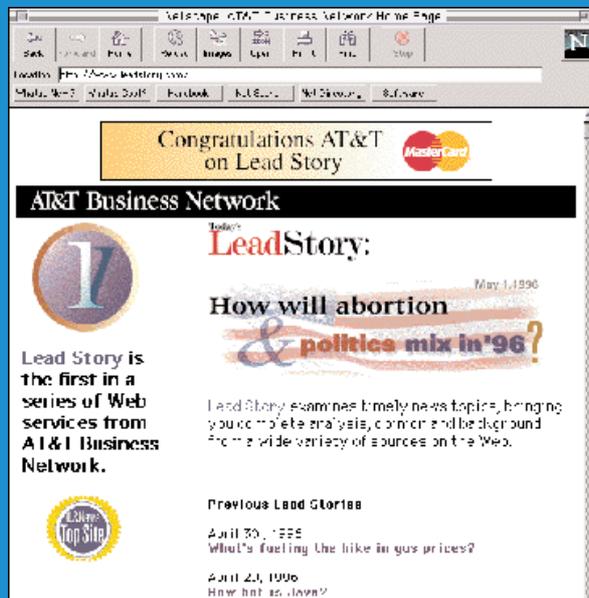
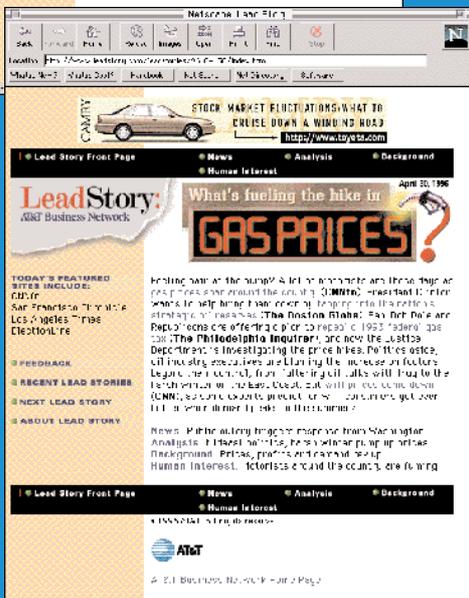
いちいち情報を追いかける時間はないが、さりどて無視するわけにもいかないし.....アメリカには、そんな多忙なエグゼクティブ向けに最新情報を手際よくまとめたサマリーだけを提供するサービスが多い。AT&Tが管理職や起業家向けに提供している情報サービスAT&T Business Networkもその1つ。

このページでは「Lead Story」と題して毎日、ビジ

ネスや一般的な話題の中から知っておくべきトピックを1つ取り上げ、情報をコンサイスに編集して掲載している。面白いのはその仕組み。ストーリー本文の中にリンクが組み込まれており、ほかの情報提供者や当該企業のウェブページにジャンプすることができる。さらにトピック関連のニュースや分析記事、オピニオン、バックグラウンド情報までが用意されてお

り、そのサブジェクトに興味があれば、かなりのところまで情報を追いかけて、掘り下げることができるようになっている。

基本的にはウェブ上のリソースをリンクしているだけなのだが、ここまで1つのイシューについて情報を展開できるウェブコンテンツの充実ぶりとそれを活かす編集能力には敬服するばかりだ。





巨大情報産業が作った充実のウェブガイド

Welcome to iGuide

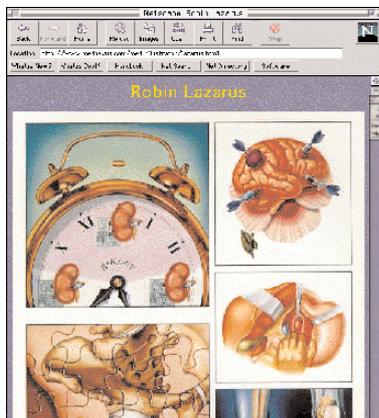
URL <http://www.iguide.com/index.sm>

これまで情報発信については代理店やメディア任せだった多くの企業が、ウェブに独自のホームページを開発して直接情報発信をするようになったり、同人誌的E-zineが盛り上がりたり.....急加速するウェブの情報サービスに対して、従来圧倒的強さを誇っていた情報産業は? そんなことを考えるうえで興味深い

のが、ルパート・マドック率いる大手情報産業ニュースコープが作ったこのウェブページ。ベースとなっているサービスは5段階評価、20000サイトのレビューを持つ究極のインターネットガイド「inSITES」だが、ニュースやエンターテイメント系の記事も豊富。ポストカードを友人に送るなど楽しい仕組みもある(ただしエ

ンコードはbase64 というのがちょっと.....)

タイムワナーがやっている「Pathfinder」に見られるように、大手の情報産業の場合、自社出版物の使い回しというパターンが多いが、それに比べるとこちらのほうはTVガイドなど、傘下の企業の情報がそれとなくすり組み込まれている。収録されている情報は少ないかも知れないが、実際のインターネット利用者にとっては使い勝手はこちらのほうが一枚上手かもしれない



美しさにはワケがある メディカル・イラストレーションの世界

Medical Illustrators' Home Page

URL http://www.mednexus.com/med_illustrator/

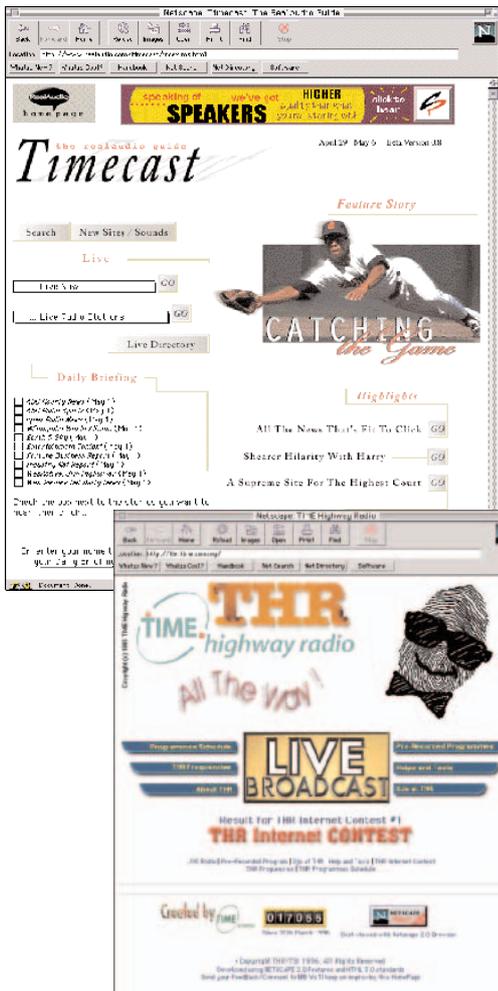
日本でイラストというと、雑誌などに載っている「挿絵」であることが多いが、どうやら米国では「説明」や「図解」といった意味で使われることのほうが多いようだ。当然、イラストレーターという職業でも意味するものが違ってくる。このページはメディカル・イラストレーション、すなわち医療分野の教育やコミュニケーションのためのモデルとして

利用される図解を描く作家たちが作ったホームページ。構造や関係性をはっきりと理解するために、写真とは違った独特の表現をいかに施すかという点がこのイラストのキモなのだろう。実際の様子を直接撮影した写真をながめただけでは理解できない各パーツの連関がひと目で分かるように表現されたイラストがサンプルとして表示されている。学校

の理科室で見た気持ちの悪い色付きの臓器がどうしてああいう色をしていたのかが納得できるというものである。

また、この特殊技能を身につけようとする初心者のためのコースウェアなども販売しており、米国のビジュアルプレゼンテーションを支える層の厚さを考えさせられるページである。





マルチメディア・オン・デマンドへのインターネット的アプローチ Timecast: The RealAudio Guide

URL <http://www.realaudio.com/timecast/index.ms.html>

リアルオーディオがおなじみのプログレッシブ・ネットワーク社が開始した新しいサービス。同社ではこれを「インターネットを使った世界初のカスタマイズドマルチメディア情報サービス」と言っている。

まず、ユーザーはリアルオーディオを使っているサイトメニューの中から好きなものを選び、これをユーザー名で登録。そうすれば次回から、ここにアクセスしてユーザー名を入力するだけで、その時点の音声付き最新ニュースなどのウェブ

ページを順番に見ていくことができるという仕組みである。それだけの話？ と言うなかれ。実際にやってみると結構面白くて便利だ。しかも、最初からビデオを流そうという大がかりな試みではなく、ウェブの表現力アップや回線環境の向上とともに、もっとリッチなコンテンツを楽しむようにするという現実的な方向である。高価なサーバーや高速回線を持たなくても手軽に始めることができるので、結果として豊富なコンテンツが

揃うのでは……というインターネット的なアプローチでもある。太平洋のこちら側の劣悪な通信環境にいる我々としては、ビデオのサイマルキャストなど同種のモジュールが派手な展開を見せるなかで、比較的低い転送速度ながら楽しいサービスを提供しようという同社の試みを高く評価したい。

これ以外にもリアルオーディオを使ったライブ放送のサイトへのリンクも完備しているので、とりあえずブックマークをチェック！

リアルオーディオを使ってインターネット上で放送を生中継するFM局が増えてきた。米国ではもうウェブで音楽を聞くというのは当たり前になってきているようだが、ついに本命とも言えるサービスが登場。それがこの「The DJ

らしい隣りあり」曲がかかっている最中にはバンド名や曲名なども表示され、曲が気に入ればその曲が収録されているCDを注文することもできる。さらにそこから「musicnews.com」にジャンプして音楽関係のニュー

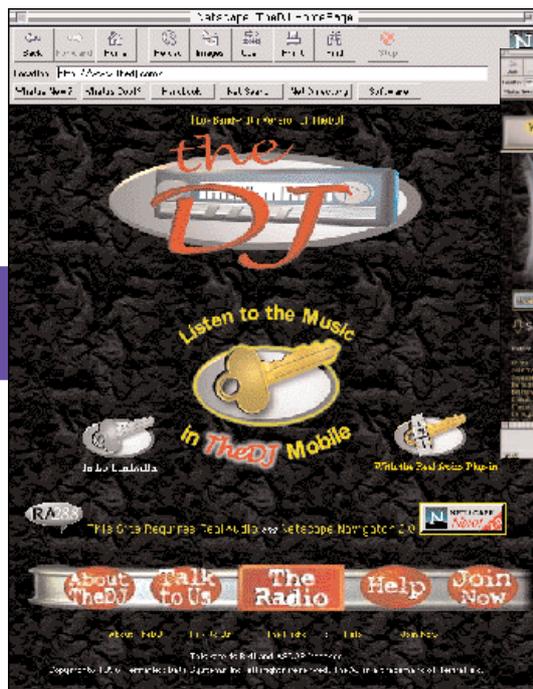
28のジャンルで音楽が聞けるおまかせDJページ TheDJ HomePage

URL <http://www.thedj.com/>

HomePage」だ。ページ上に、70年代の音楽を収めた「8trax」から世界の音楽を集めた「World Music」というステーションまで、なんと28種類のジャンルの仮想音楽放送局があり、それぞれのラインナップで曲を放送。ユーザーは自分の好みのステーションを選択して聞くことができる（ただしDJが出てきてコメントするわけではないので、ちょっと看板にう

スも読めるのも、著作権管理団体のBMIとASCAPのおかげ(?)。こういう仕組みが日本でも機能しないものかと思うのは私だけではないはずだ……。

ところで、自分のCDをかけて欲しい人には「送ってくれればどこかのチャンネルで放送します」と言っているので、世界デビューを目指しているインディーズの皆さん、利用してみるのはいかが？



洋書屋さんに入荷する前に見る「Car and Driver」
Car and Driver

URL <http://www.caranddriver.com/hfm/index.html>

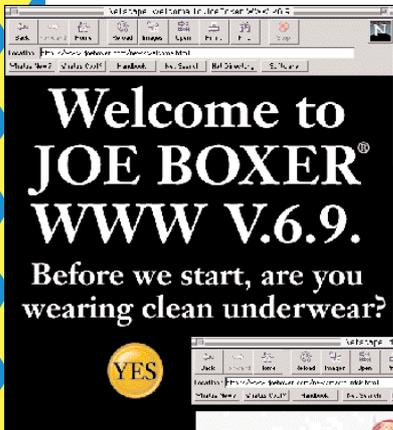
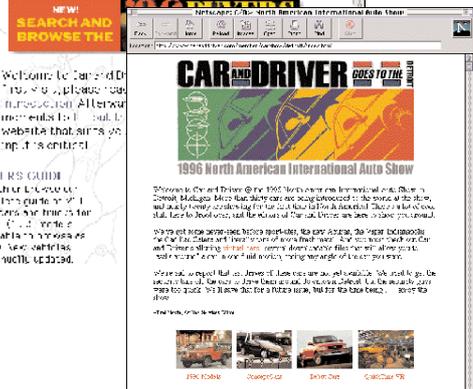
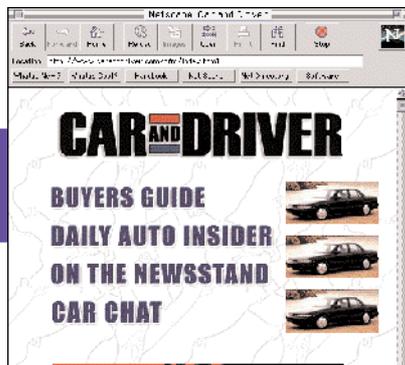
40周年の歴史を持つアメリカモータージャーナリズムの雄「カー・アンド・ドライバー」誌のホームページ。本格的月刊誌がベースとなっているだけに内容は実に豊富だ。

当月発売分の内容のうち、クルマ好きなら確実に気になる「ロードテスト」やスクープ、コラム記事などの中から主なものが抜粋され掲載され

ている。なかでも「96年版バイヤーズガイド」ではメーカー、プライスレンジ、タイプ別に260以上の車種の検索、スペック紹介や解説（同一タイプの比較表もある）を読むことができ、これだけでもアクセスする価値があるはず。

このほか、自動車業界の最新ニュース、昨年から今年にかけて世界各地で開催された

自動車ショーのレポート、シヨックウェブを使ったお遊びもあってなかなか楽しめる。特にデトロイトのモーターショーでのQTVRを使った360度のニューモデル紹介（モノがステージ上で動いてくれるんだから撮影も楽なはず）は、さすがニューモデルをすみまでながめてみたいという自動車ファンの気持ちをつかんでいる。



笑える下着姿は男の特権？

The hands of fate . . .

URL <http://www.joeboxer.com/>

「男の下着には2つの種類がある」と言われたとき、まず思いつくのはブリーフ型とトランクス型。どちらをばいいるかで性格診断があるくらい有名な分類法だ（ホントかあ？）が、米国ではどうやらカルバン・クライン型とジョー・ボクサー型という分類も

あるようだ。もちろん前者は女の子対策のセクシーさが売り物。で、こちらのほうは、男同士のばか騒ぎというか、ちょっと間抜けな笑いとシャレのきつさがポイント（？）。ホームページにアクセスすると「あなたは清潔な下着をはいてますか？」という質問。「Yes」と応えると「いやあ、みんなそう言うんですけどね...」と、「パーチャル・アンダー

ウェア・プロセッサ」が清潔なパンツをはかせてくれる。その間、「モニターの前にいるだけでパンツを脱ぐ必要はありません」というプロンプトが.....。このほか、ほかほかしい笑えるページがいっぱいだが、そういう女性の下着では笑えないし、カカロン・クラインのでも.....と考えると、この勝負、ジョー・ボクサーの一人勝ちか？



おぢさん世代、オバント箱に見るアメリカ文化で感慨にふける
The Land of the lunchboxes!

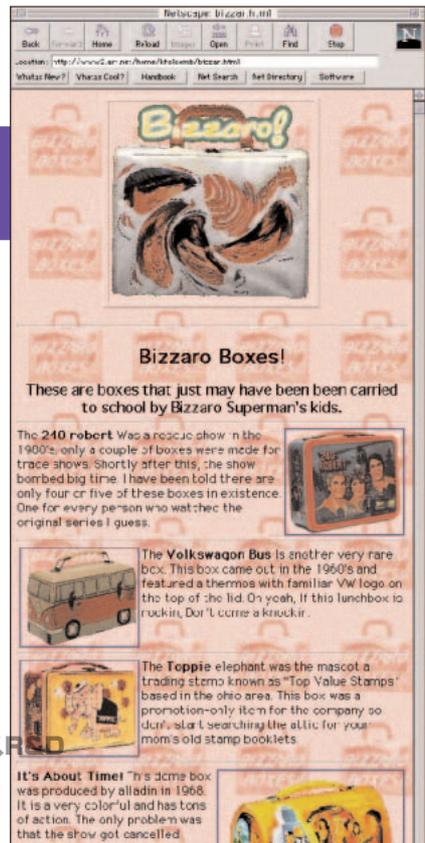
URL <http://www2.ari.net/home/kho1comb/lunch.html>

こんなところにも日米文化差が.....と気づかされてしまうのが1950年代から80年代半ばまでのランチボックス、いわゆる米国版オバント箱を集めたこのウェブページ。文化差といっても、中身がサンドイッチとご飯で違う、という話ではない。

このページに集められたスタートレックやアニメのキャラクター、TV番組の主人公、ピートルズやモンキーズといったポップスターたち、どれも今や中

年になろうとしている日本の世代に馴染みのないものではない。しかし、こんなものが弁当箱にプリントされているなんてことはなかったような.....。当時の子どもたちのヒーローの絵柄が描かれたさまざまなランチボックスを見ていると、アメリカのウェブページがそれぞれに個性的な理由が分かる気がする。これに比べると、思い出せばよから少年時代って何か画一的な感じ。校則ばっちりの管理教育

だし、平等主義の給食だもんな。子どものころから個性的に自分を演出するチャンス（とはいっても何を買うか程度の話だが）が持てるというのは素晴らしいことなんじゃないか？と考えるのだが、これも今や「いじめ」の原因なんかになっちゃったりするかもしれないんだ。豊かになったというのは本当なのか、考えちゃいます。



アブないアメリカを生き抜くための適性検査？

Rate Your Risk

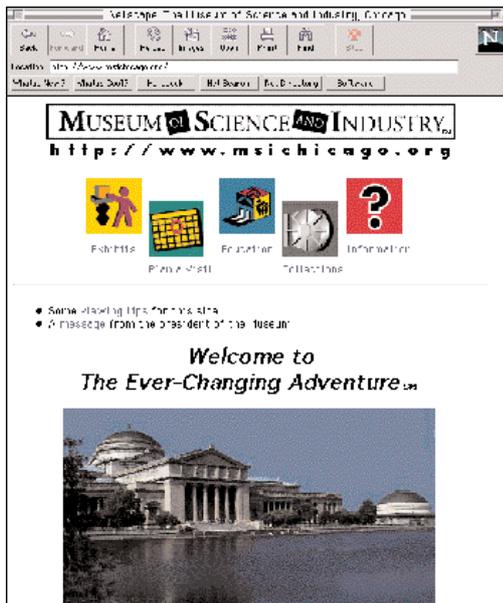
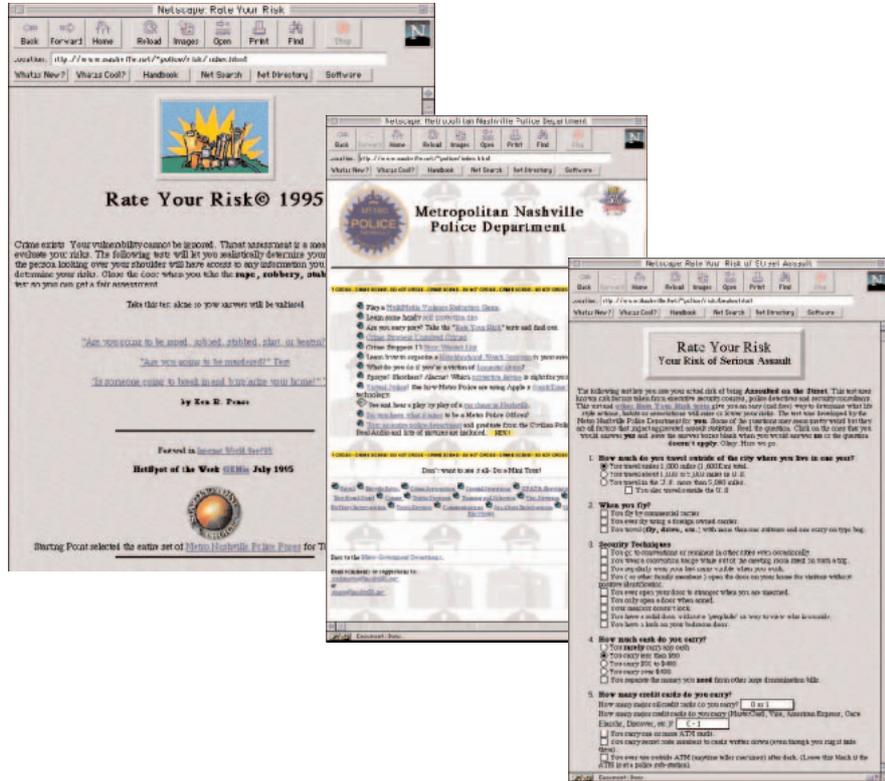
URL <http://www.nashville.net/~police/risk/index.html>

物騒な世の中である。特に近年は米国に留学していたり、駐在している人間が危ない目にあったニュースが伝えられることも多くて、外務省が現地向けの生活ガイドを出す始末。そんなとき参考にしたいのが、「あなたの生活パターンから見た危険度」を測定するこのページ。

ナッシュビル警察のウェブにあることから判定基準は同市の犯罪パターンをベースにしていると思われるが、「あなたはレイプ、強盗、殺人、発砲、暴行にあうか？」「あなたは殺されるか？」「あなたの家は泥棒に入られるか？」と

いったテストを受けると、どれくらいの確率でアクシデントに遭遇するか、その回避法は...といったアドバイスを受けることができる。

質問項目を読むだけでもなかなか興味深いのが、内容が結構プライバシーに立ち入るため、「だれかにこのテストを受けているのをのぞき込まれたら大変だから、ドアを閉めてからやってください」という注意書きは、すごく真実味があって怖い。いや、このデータが何らかの形で盗まれてユーザー一人と直接結びつけられるほうがもっと怖い？



日本の科学教育を考えさせられるシカゴ科学・産業ミュージアム

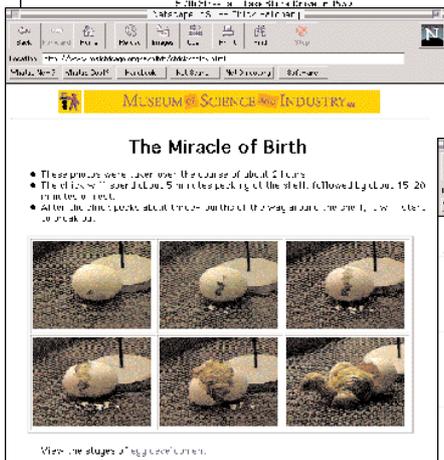
The Museum of Science and Industry, Chicago

URL <http://www.msichicago.org/>

高速増殖炉「もんじゅ」の事故処理とマニュアルのあり方が問題になってから、科学と社会一般との関係が問い直されている。と言うとちょっと堅苦しいが、これだけ科学が巨大システム化してくると、科学者はもとより、一般の人も無関心では許されない。「しかし、今さら理科のお勉強じゃあね〜」という人には是非お勧めしたいのが科学技術系の

ミュージアム。詰め込み式ではなく、楽しく科学や技術を理解することのできるさまざまな展示が用意されている。博物館本来の目的を考えると、こうした施設がインターネットなど新しい情報環境をどう生かすかというのは大きな課題の1つに違いない。シカゴにある科学産業ミュージアムもその1つで、ウェブ上の展示にも結構気を使っている。

このページは同ミュージアムの展示物などを中心に構成されているが、イラストで説明するエイズの仕組み、ミニチュアのお城、今思うと有用にはほど遠い歴史的な機械、ひよこのふ化の様子、歯車や乗り物のいろいろ.....といったラインナップ。だけだとよく考えてみると、これはいわゆる科学教育的「おもちゃ」の世界。ではわが国のおもちゃは.....と見ると、どうも「悪に耐えて最後はパワーで逆襲」パターンのスーパーヒーロー的なものが多い。日本の将来は大丈夫だろうか？





[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp